



平成 18 年 7 月 28 日

各 位

会社名 株式会社サンウッド
代表者名 代表取締役社長 中島 正章
(JASDAQ コード 8903)
問合せ先 取締役経営企画本部長
岡本 真人
(TEL. 03 - 5425 - 2661)

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社はこの度、平成 21 年 3 月期を最終年度とする 3 ヶ年中期経営計画を策定いたしましたので、その内容について下記の通りお知らせいたします。なお、平成 17 年 5 月 31 日に発表いたしました 5 ヶ年「長期経営計画」につきましては、下記に示すような当社を取り巻く事業環境の大きな変化に対応して、より現実的かつ発展的な 3 ヶ年「中期経営計画」に変更いたしました。

記

1. 中期経営計画策定の背景と当社を取り巻く事業環境

当社は、平成 9 年の創業以来、優良な事業用地を厳選し、プライバシーやセキュリティーをより重視した「サンウッド基準」を制定して、高品質なマンションを適正な価格で提供して参りました。その結果、当社物件ご購入の方々から一定の評価を頂き、かつ、完成在庫の長期滞留という事態に陥ることなく、当社業績も堅調に推移してきました。

このような経緯を踏まえ、また、都心回帰という業界での拡大基調が続くなか、当社としては、会社設立後 10 年という節目を控え、創業理念を忘れることなく、当社の「サンウッド基準」を堅持し、高品質なマンションを提供することが当社の使命と考え、昨年、5 ヶ年「長期経営計画」を策定致しました。

しかしながら、デフレ脱却と相前後しての地価の下げ止まり、特に都心の優良な事業用地価格の高騰、昨年発生した耐震偽装問題・エレベーター死亡事故に代表されるマンション関連施設・設備問題等、当社を取り巻く業界の事業環境は、この一年で大きくかつ急激に変化することとなりました。

このような環境変化のなか、今後更に不透明感の強い先行きを勘案した場合、当社としては、5 ヶ年「長期経営計画」を 3 ヶ年「中期経営計画」に変えて当社の創業理念に沿った事業展開を推進し、手作りの高品質な住宅を安定的かつ持続的に供給していくべきものとの結論に達しましたことから、今年度を初年度とする 3 ヶ年「中期経営計画」を策定したものであります。

2. 対象期間

平成19年3月期～平成21年3月期の3年間

3. 中期経営計画達成のための具体的施策

当社の基本方針は、優良な事業用地を取得し、「サンウッド基準」に基づき、顧客の満足度を高めた高品質な居住空間を提供していくこととあります。この創業以来の基本方針を堅持していくことは当然であります。今回の3ヵ年「中期経営計画」を達成するためには以下のような具体的施策を実施して参ります。

- (1) 開発部門における戦略的な人員配置による用地取得の強化ならびに取得候補地域（テリトリー）の拡大による保有事業用地の増大
- (2) 購入層ニーズの多様化に応えるため、製販一体の特性を生かした、いわゆる当社の「サンウッド基準」の象徴とも言える「プライバシー／セキュリティー重視」に見られるような商品企画力の強化・徹底
- (3) 当社「サンウッド基準」に基本的に合致した範囲内での共同（J/V）事業への積極的な参画

4. 具体的な経営数値目標（連結ベース）

（単位：百万円）

	平成19年3月期予想 （計画初年度）	平成20年3月期目標 （計画第2年度）	平成21年3月期目標 （計画最終年度）
売上高	11,100	16,500	31,000
売上総利益	2,160	2,800	6,500
営業利益	593	1,000	4,500
経常利益	194	500	3,900

以上

<ご注意>

上記に記載した目標ならびに予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により、上記予想数値と異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。